

二十一世紀は「環境の世紀」と言われますが、これまで人類が経験してきた「産業革命」や「IT革命」に続く、いわば「環境革命」の時代と考えられます。

このような「環境革命」の時代で「持続可能な社会」を実現させるためには、企業、個人が積極的に環境に配慮する活動を実行するべきだと考えます。

三井金属は、鉱山・製錬業を原点とし、現在では亜鉛、鉛等の金属製錬、TAB、銅箔などの電子材料、環境リサイクル事業、自動車部品製造、エンジニアリング事業等を世界に展開しております。

私達は、地球環境保全を「経営上の最重要課題の一つ」として位置付け、事業活動のあらゆる面で環境保全に配慮して行動することを理念に掲げた環境基本方針を2001年4月に策定し、廃棄物の削減、省エネルギーなどを地道にかつ着実に進めております。何が何でもやり遂げるといふ「強い意志」を持ち、物作りがもたらす環境負荷の低減ならびに、環境の改善のための土壌浄化等の環境事業に取り組んでおります。

昨年に引き続き、三井金属の環境問題への活動について、理解を深めていただけるよう2004年版を作成しました。本報告書により、弊社グループの環境保全への取組みと今後の方向をご理解いただければ幸いです。

2004年 12月



代表取締役社長 **横原 紘**

三井金属は、2001年4月にグループ共通の環境基本方針および環境行動計画を策定し、環境保全への取組みを進めております。

全社で取り組んでおります環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証は約半数の事業所が取得を終了いたしました。目下、全社で取得すべく、加速して取り組み中であります。

また、法令順守の取組みの一環として、全社を対象とした環境法令講習会の開催、各所における法令説明会等を開催し環境意識の高揚に努めております。

環境保全の具体的な活動としては、地球温暖化防止の一環としてCO₂削減のためのエネルギー削減、更には廃棄物発生量の削減、有害物の排出削減に日夜取り組んでおります。

本報告書では、このような環境保全への取組みとともに、環境汚染物質排出状況、非鉄金属リサイクルなどの環境事業、また、弊社の安全衛生への取組み状況等についてもご紹介して、皆様のご理解をいただくよう心掛けておりますが、今後の活動の向上に資するため皆様のご意見をいただければ幸いです。

2004年 12月



環境および安全衛生最高責任者
取締役
兼 常務執行役員 **矢内 邦夫**